

環境保全協定に基づく環境測定結果の報告

1. 環境保全協定書第4条及び第5条に基づく施設からの排ガスの測定結果

測定日：令和7年6月26日

項 目	単 位	1号煙突	2号煙突	協定基準値	国の基準値
ダイオキシン類	ng - TEQ/m ³ N	0.034	0.044	0.05 以下	0.1 以下
ばいじん	g/m ³ N	0.00077 未満	0.00078 未満	0.01 以下	0.08 以下
塩化水素	ppm	10	12	43 以下	430 以下
硫黄酸化物	ppm	0.47	1.5	30 以下	約 3,000 以下
窒素酸化物	ppm	3.1 未満	4.3	50 以下	250 以下
一酸化炭素	ppm	2.4	1.9	30 以下	—

※ ng - TEQ/m³N

n g (ナノグラム) … 10億分の1 g

TEQ (毒性量等) …ダイオキシン類は種類によってそれぞれの毒性の強さが異なり、ダイオキシン類の量を毒性の最も強い 2,3,7,8-TeCCD の毒性を「1」としたときの換算値

m³N (ノルマルリュウベイ) …気温0℃、1気圧の状態における1 m³

※ ppm … 100万分の1

環境保全協定に基づく環境測定結果の報告

1 各種環境測定の結果

施設からの排ガス、騒音、振動、悪臭及び周辺環境の調査結果については以下のとおりです。

① 排ガス等測定結果

測定日：令和7年12月19日

項 目	単 位	1号煙突	2号煙突	協定基準値	国の基準値
ダイオキシン類	ng - TEQ/m ³ N	0.029	0.039	0.05 以下	0.1 以下
ばいじん	g/m ³ N	0.00072 未満	0.00071	0.01 以下	0.08 以下
塩化水素	ppm	12	15	43 以下	430 以下
硫黄酸化物	ppm	0.66	0.0042	30 以下	約 3,000 以下
窒素酸化物	ppm	2.4 未満	8.4	50 以下	250 以下
一酸化炭素	ppm	1.7 未満	1.7 未満	30 以下	—

※ ng - TEQ/m³N

(1) ng (ナノグラム) … 10億分の1g

(2) TEQ (毒性量等) … ダイオキシン類は種類によってそれぞれの毒性の強さが異なり、ダイオキシン類の量を毒性の最も強い2,3,7,8-TeCCDの毒性を「1」としたときの換算値

(3) m³N (ノルマルリュウベイ) … 気温0℃、1気圧の状態における1m³

※ ppm … 100万分の1

② 騒音・振動・悪臭測定結果

・騒音 (敷地境界値)

測定日：令和7年12月18日～19日

項 目	単 位	地点①	地点②	地点③	協定基準値	県条例基準値
朝 (午前6時～午前8時)	デシベル	48	47	47	55 以下	60 以下
昼 (午前8時～午後6時)		53	54	48	60 以下	65 以下
夕 (午後6時～午後10時)		47	44	43	55 以下	60 以下
夜 (午後10時～午前6時)		46	39	43	50 以下	50 以下

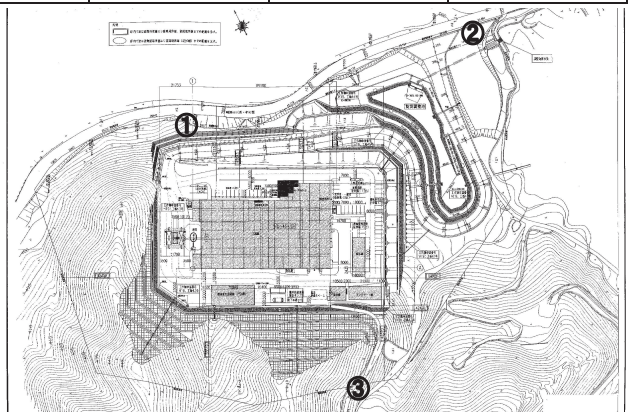
※音の強さの目安

60 … 日常の会話

50 … 静かな事務所

40 … 図書館や静かな住宅地

30 … 郊外の深夜



・振動（敷地境界値）

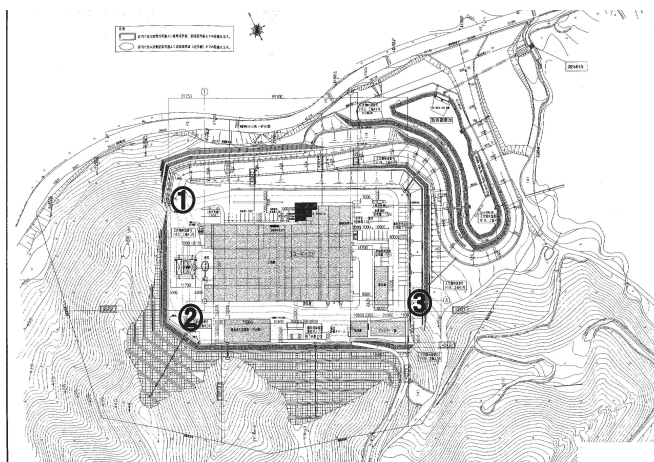
測定日：令和7年12月18日～19日

項 目	単 位	地点①	地点②	地点③	協定基準値	県条例基準値
昼(午前8時～午後8時)	デシベル	28	25未満	33	60以下	65以下
夜(午後8時～午前8時)		27	25未満	32	55以下	60以下

※振動の強さの目安

55～65…静止している人だけ感じる

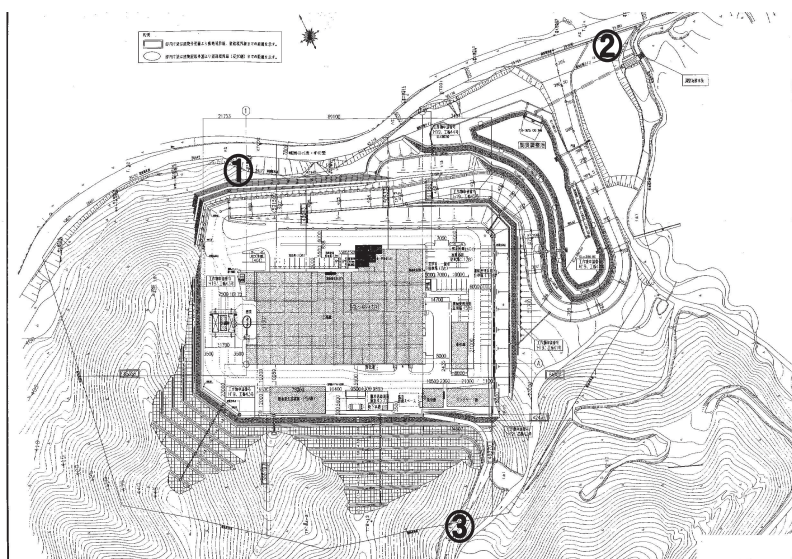
45～55…人体に感じない程度



・悪臭（敷地境界値）

測定日：令和7年12月19日

項 目	地点①	地点②	地点③	協定基準値	国県基準値
臭気強度	0	0	0	2.5以下	—



③ 周辺環境モニタリング大気質調査

測定日：令和7年12月5日～11日

測定結果

測定箇所：平ヶ崎ストックヤード付近

項 目	区 分	単 位	今回測定値	建設前測定値
ダイオキシン類	平均値	pg - TEQ/m ³	0.0045	0.014
窒素酸化物	期間平均値	ppm	0.002	0.005
	1 時間値の最高値		0.009	0.020
二酸化硫黄	期間平均値	ppm	0.001	0.002
	1 時間値の最高値		0.002	0.005
浮遊粒子状物質	期間平均値	mg/m ³	0.005	0.006
	1 時間値の最高値		0.041	0.031
塩化水素	期間平均値	ppm	0.001 未満	0.003 未満
	1 時間値の最高値		0.001 未満	0.003 未満
光化学オキシダント	期間平均値	ppm	0.041	0.026
	1 時間値の最高値		0.041	0.046
風向	最多風向	—	西	西
風速	期間平均値	m/s	1.5	1.1
	期間最高値		3.3	5.3

※pg（ピコグラム）…1兆分の1g

※建設前測定…調査期間 H17. 12. 20～H17. 12. 26

環境基準

物 質	環 境 上 の 条 件
ダイオキシン類	年平均値が 0.6pg TEQ/m ³ 以下であること。
窒素酸化物	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
二酸化硫黄	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
浮遊粒子状物質	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ 1 時間値が 0.20 mg/m ³ 以下であること。
塩化水素	目標環境濃度 1 時間値：0.02ppm
光化学オキシダント	1 時間値が 0.06ppm 以下であること。 参考…注意報発令基準：0.12ppm 以上となりその状態が継続すると予想されるとき

※環境基準は、「維持されることが望ましい基準」であり、行政上の政策目標である。これは、人の健康等を維持するための最低限度としてではなく、より積極的に維持されることが望ましい目標として、その確保を図っていかうとするものである。（環境省HPより抜粋）

※塩化水素は通達による目標値

④周辺環境モニタリング水質調査

測定結果

試料採取日 令和7年11月20日

項目	単位	地点①	地点②	地点③	地点④	建設前測定値	基準値
水温	℃	7.5	8.0	9.0	9.0	5.0	—
気温	℃	6.5	5.7	6.5	5.9	11.2	—
臭気	—	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	—
透視度	度	50 以上	50 以上	50 以上	50 以上	50 以上	—
色度	度	1.2	0.9	1.1	1.0	2.0	—
流量	m³/分	0.1	0.2	24	26	15.8	—
水素イオン濃度 (PH)	—	7.8	7.8	7.9	7.9	7.7	6.5～8.5
浮遊物質 (SS)	mg/L	1	1	1 未満	1 未満	1.0 未満	25 以下
化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	0.6	1.0	0.5 未満	0.5 未満	1.3	—
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	0.5 未満	0.6	0.5	0.6	1.5	2 以下
溶存酸素容量 (DO)	mg/L	11.0	11.0	11.0	11.0	9.1	7.5 以上
大腸菌群数	MPN/100mL	7.8	7.8	13	79	23	1,000 以下
全窒素	mg/L	0.30	0.30	0.34	0.34	0.57	—
全りん	mg/L	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.002	—
亜鉛	mg/L	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.002 未満	—

地点①…センター雨水排水口上流側

地点②…センター雨水排水口下流側

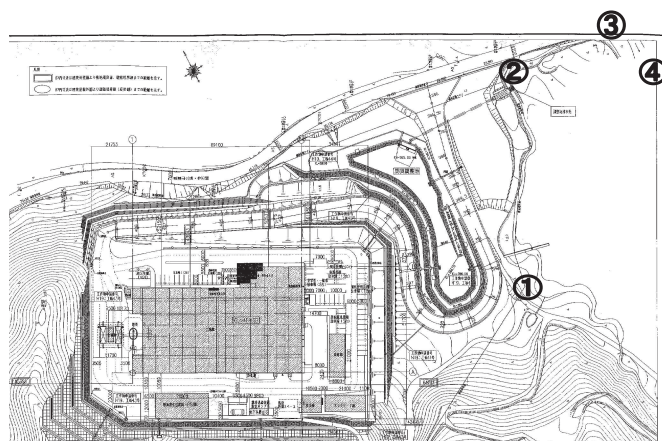
地点③…白崖橋上流側

地点④…白崖橋下流側

※建設前測定

試料採取日…平成 18 年 1 月 26 日

採取箇所…地点④白崖橋下流側



⑤ 周辺環境モニタリング土壌調査

測定日：令和 7 年 1 1 月 2 0 日

測定場所：平ヶ崎ストックヤード

測定結果

項 目	単 位	今回測定値	建設前測定値	環境基準値
総水銀	mg/L	0.0001 未満	0.0005 未満	0.0005 以下
ニッケル	mg/L	0.05 未満	—	—
銅	mg/kg	1 未満	1	125 未満
鉛	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.01 以下
六価クロム	mg/L	0.005 未満	0.02 未満	0.05 以下
亜鉛	mg/L	0.01 未満	—	—
カドミウム	mg/L	0.0003 未満	0.001 未満	0.01 以下
ダイオキシン類	pg - TEQ/g	56.0	16	1,000 以下

※建設前測定値は平成 1 7 年度に平ヶ崎ストックヤード南側のテニスコート脇での調査結果である。

2. 放射性物質濃度等の測定結果

(1) 放射性物質濃度

令和5年度

単位：Bq/kg

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
飛灰	405	—	472	589	507	617	378	—	247	201	—	194
スラグ	不検出	—	不検出	15	不検出	21	不検出	—	不検出	不検出	—	不検出
排ガス	不検出	—	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	—	不検出	不検出	—	不検出

令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
飛灰	300	430	610	500	702	400	490	410	250	190	240	190
スラグ	不検出	不検出	13	不検出	19	12	11	12	不検出	不検出	不検出	不検出
排ガス	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

令和7年度以降

	R7	R8										
飛灰	300											
スラグ	不検出											
排ガス	不検出											

※令和7年度から測定回数を年1回へ変更

(2) 一時保管状況 (R7.3.31 現在)

①保管量 2,174.30 t (内 8,000 Bq/kg 超の指定廃棄物 564.17 t)

②施設別保管量 クリーンセンター施設内 溶融飛灰：556.37 t 稲わら：7.8t (共に指定廃棄物：8,000Bq/kg 超)

平ヶ崎ストックヤード敷地内 溶融飛灰：1,610.13 t (8,000Bq/kg 以下)